

## 令和元年度「ひろしまスタイル定住促進事業」の実施状況等について

令和2年6月19日  
地域力創造課

## 1 要旨

県外からの移住者の獲得に向けて、「魅力発信」、「マッチング」、「受け皿づくり」を一体的に展開する「ひろしまスタイル定住促進事業」の令和元年度における実施状況を報告する。

## 2 実施状況

令和元年度は、本県への移住者の更なる増加を図るため、東京相談窓口の機能強化と潜在的に移住に関心がある層もターゲットとしたウェブ上の仕組みづくりに取り組んだ。

## (1) 広島らしいライフスタイルの魅力発信

- デジタルマーケティングの手法による情報発信
- 移住サイト「HIROBIRO.」の改修（スマートフォン対応構造等）
- 市町や民間企業等の各種関係機関が参画する移住フェアの開催（4回、総参加者数 656 人）

## (2) 移住希望者と地域のマッチング

- AI 移住相談システムの試験運用開始（令和元年 11 月 26 日）
- 県内の各地域と東京の人材をマッチングする移住セミナーの開催（13 回、総参加者数 346 人）
- ワンストップで地域の移住受け皿となるキーパーソンと連携した相談会の開催

## (3) 移住者に対する受け皿づくり

- 経済団体等と連携した、経営者から求める人材の掘り起こしの拡充
- 東京と広島の創業サポーターが連携した移住者の起業サポート

## 3 成果

## (1) 移住実績

- 新型コロナウイルス感染症対策における外出自粛の影響により、1～3月は新規相談者数が減少したが、継続相談者の増加傾向は維持し、年間相談者数は、昨年度の 2,882 組から 3,188 組へ 10.6%増加した。
- 県と市町の移住施策で捕捉した県外からの移住世帯数は、昨年度の 177 世帯から 199 世帯へ 12.4%増加し、ふるさと回帰支援センターの移住希望地域ランキングが 2 位に上昇した。

## (2) ウェブ上の仕組みづくり

- 移住サイト「HIROBIRO.」改修直後の 1 ヶ月当たりの閲覧ページ数は、昨年同時期の 8,835 から 11,268 へ 27.5%増加となり、また、AI 移住相談システムは 900 人の利用者があった。

## (3) 仕事マッチングの仕組みづくり

- 新たに 24 社の企業と連携し、経営者から直接求人を掘り起こした「とっておきの求人」やマッチングシステムの登録企業が 16.6%増の 169 社となった。

区 分	H30 年度	R1 年度	増加率
移住希望地域ランキング 2019（ふるさと回帰支援センター）	6 位	2 位	—
相談件数（ひろしま暮らしサポートセンター）	2,882 組	3,188 組	10.6%
県外からの移住世帯数（県・市町移住施策捕捉分）	177 世帯	199 世帯	12.4%

## 4 課題と対応

- 令和2年度においては、AI 移住相談システムの本格運用に向け、ウェブ上で移住行動を促進する仕組みの機能拡充に取り組む。
- 新型コロナウイルス感染症対策における外出自粛により、4月～5月においては、東京相談窓口が在宅勤務となり、移住イベントが中止・延期となったが、オンラインでの面談やセミナーを他県に先駆けて取り入れており、アフターコロナの動向も踏まえて、オンラインと対面が相乗効果を生む移住促進の仕組みづくりに取り組む。